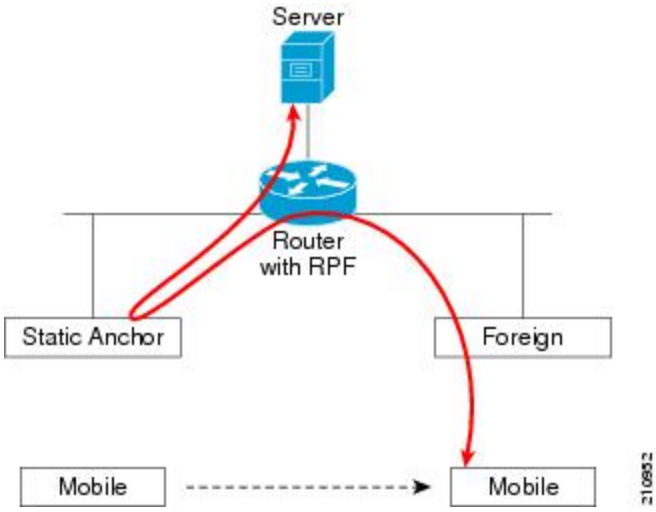
シンメトリック モビリティ トンネリングの使用

- シンメトリック モビリティ トンネリングについて，1 ページ
- 注意事項および制約事項，2 ページ
- シンメトリック モビリティ トンネリングの確認（GUI），2 ページ
- シンメトリック モビリティ トンネリングが有効な場合の確認（CLI），2 ページ

シンメトリック モビリティ トンネリングについて

シンメトリック モビリティ トンネリングが有効になっている場合、すべてのクライアント トラフィックがアンカー コントローラへ送信されるため、RPF チェックを問題なく通過します。

図 *1*：シンメトリック モビリティ トンネリングまたは双方向性トンネリング



シンメトリック モビリティ トンネリングは、次の場合にも便利です。

- 送信元 IP アドレスがパケットの受信先サブネットと一致しないため、クライアント パケット パス内のファイアウォールでパケットがドロップされる場合。
- アンカー コントローラ上のアクセス ポイント グループの VLAN が外部コントローラ上の WLAN インターフェイス VLAN と異なる場合。 この場合、モビリティ イベント中に、クライアント トラフィックが誤った VLAN に送信される可能性があります。

注意事項および制約事項

- シンメトリック モビリティ トンネリングはデフォルトで有効です。

シンメトリック モビリティ トンネリングの確認（GUI）

ステップ 1 [Controller] > [Mobility Management] > [Mobility Anchor Config] の順に選択して、[Mobility Anchor Config] ページを開きます。

ステップ 2 [Symmetric Mobility Tunneling Mode] テキスト ボックスに [Enabled] と表示されます。

シンメトリックモビリティトンネリングが有効な場合の確認（CLI）

次のコマンドを入力して、シンメトリックモビリティトンネリングが有効であることを確認します。

show mobility summary